

第11回DIAクリニカルオペレーション・モニタリングワークショップ

我々は未来に向けて何を「変革」し、「継承」するのか？

2023年7月20日(木)～21日(金) + 22日(土) 特典企画スペシャルディスカッション
ハイブリッド開催 | 国際ファッショセンター(両国) およびオンライン (Zoom)
7月22日(土)はオンラインのみ

プログラム委員会

プログラム委員長
中外製薬株式会社
山内 美代子

プログラム副委員長
ファイザーR&D合同会社
岡田 久美子

プログラム委員
ノバルティスファーマ株式会社
花島 孝之
株式会社アイロムグループ
原 寿哉

神戸大学医学部附属病院
五百蔵 武士
第一三共株式会社
石橋 寿子

国立がん研究センター 東病院
小村 悠

武田薬品工業株式会社
南條 和由
アステラス製薬株式会社
岡田 俊之

イーピーエス株式会社
小野崎 千晴
田辺三菱製薬株式会社
渋谷 智

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
下野 航

ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社
内田 正志
東京大学医学部附属病院
渡部 歌織

MSD株式会社
山崎 大路

プログラムアドバイザー
株式会社アイコン・ジャパン
松田 幸大

DIA Japan COM Community Lead
株式会社中外臨床研究センター
飯島 雅之

DIA Japan Operation Team
川崎 史貴
ノバルティスファーマ株式会社
西岡 明子
アヴィ合同会社
武内 千晶

一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン
中森 省吾

DIA volunteers, members, and staff provide a comprehensive catalogue of conferences, workshops, training courses, scientific publications, and educational materials, throughout the year, all around the world.

DIAGlobal.org

概要

第11回クリニカルオペレーション・モニタリングワークショップでは、“我々は未来に向けて何を「変革」し、「継承」するのか？”をテーマとして、みなさまと活発なディスカッションをできるようなセッションをご用意しました。

医薬品開発を取り巻く環境は、臨床試験の複雑化・多様化に加え、デジタル技術を活用した新たな取り組みなど変革の時期にあります。規制面ではICH GCP Renovationが進んでいます。また、昨今、日本市場の魅力の低下や独自の治験実施慣行から、日本での治験機会が敬遠されつつあり、世界で使用できる医薬品が国内で使用できないドラッグロスが懸念されています。

このような中で、Clinical Operationを担う我々は、変わりゆく環境に適應するだけでなく、自ら積極的に変革していくことが求められています。一方で、これまで培ってきた知識や経験の中に、環境や状況が変わっても日本として継続すべき大事な考え方や取り組みもあると考えています。患者さんへ持続的な価値を提供しつづけるために、各自が本質を考えながら、変革していくこと、継承していくことにもっと自覚的になって行動することが、未来へと繋げていく上で大切になってくるのではないのでしょうか？

本ワークショップでは、本質を見極めながら、「何を残し、変えていくのか？」「それをどのように進めていくか」について参加者全員で議論し、一步を踏み出す契機になればと考えています。

最後に、本年もワークショップ参加者と医療機関の方々を対象としたスペシャルディスカッションを3日目にWeb開催します。それぞれの本音を語り、相手をより理解できるDIAならではの機会として2021年より好評を頂いております。各セッションと共にこちらの機会も楽しみにご参加ください。

なお、スペシャルディスカッションは本ワークショップとは別に事前登録が必要となりますのでご留意ください。

本ワークショップは日本語で開催いたします。

展示申込受付中

詳細については、ディー・アイ・エー ジャパンまでお問い合わせください。



DIA Japan
Nihonbashi Life Science Building 6F,
2-3-11 Nihonbashihoncho, Chuo-ku, Tokyo 103-0023 Japan
Tel: +81.3.6214.0574 Fax: +81.3.3278.1313 Email: Japan@DIAGlobal.org

Drug Information Association

Global Center: Washington, DC | Americas | Europe, Middle East & Africa | China | Japan | India

1日目: 2023年7月20日(木)

9:00-9:30

チャットセッション受付

9:30-11:30

チャットセッション(現地参加のみ)

小グループでのカジュアルなディスカッションを通して、医薬品開発に関わる方たちとの本ワークショップのセッションの掘り下げ、情報共有等ネットワーキングの場を提供します。以下のセッションテーマの中からご希望のものをお選びください。

- 1) PE (Patient Engagement)
- 2) RBM (Risk Based Monitoring)
- 3) C-IRB (Central IRB)
- 4) CIT (Common ICF Template)
- 5) FMV (Fair Market Value)
- 6) DCT (Decentralized Clinical Trial)
- 7) Oversight
- 8) ICH GCP (E6)
- 9) 医療機関(CRC)と依頼者(CRA)の協働

こちらからお申込みください。

※申込期限: 7月16日(日)まで

ファシリテーター:

株式会社中外臨床研究センター

飯島 雅之

DIA Clinical Operation・Monitoring Community members

アヴィ合同会社

長井 怜雄

パレクセル・インターナショナル株式会社

小崎 順平

塩野義製薬株式会社

菅沼 佑美

帝京大学

西谷 政昭

11:30-13:00

ランチブレイク/ランチョンセミナー

11:50-12:30 アガサ株式会社

13:00-13:15

開会の挨拶

DIA Japan

中森 省吾

プログラム委員長/中外製薬株式会社

山内 美代子

13:15-13:50

セッション1

基調講演

革新的医薬品を世界の患者さんに速やかに届けるには、グローバル規模の創薬イノベーションエコシステムが機能する必要があり、日本もその一員として責務を果たすために産官学で協業して規制や治験環境をさらに整備することが重要となる。近年新薬を多く創出している海外新興企業の国内参入障壁が高く、ドラッグロス・ラグが増えることが懸念される中、日本市場の魅力向上、日本人データの要求見直し等とともに治験オペレーションの国際競争力強化が鍵となる。本講演では、本エコシステムで日本が果たすべき役割について一緒に考えたい。

座長:

ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社

内田 正志

株式会社アイロムグループ

原 寿哉

グローバル創薬イノベーションエコシステムにおける日本の役割

ファイザーR&D合同会社 社長

石橋 太郎

13:50-14:50

セッション2

ICHガイドラインに関するupdate

ICH GCPリノベーションに関してはE8(R1)が国内実装し、E6(R3)の改訂議論も進んでいる。両ガイドラインでは臨床試験の質を目的への適合性と捉えている。また昨年STEP4に達したE19では一部試験で選択的安全性データ収集が正当化される要因が説明された。これらガイドラインはQBDの概念に基づく臨床試験の質の向上を促しており、適切な活用により開発の適正な効率化が期待される。本セッションではICH GCPリノベーションの動向とE19の概要を紹介し、オペレーションへの影響を考える機会としたい。

座長:

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

下野 航

ファイザーR&D合同会社

岡田 久美子

ICH E6 (R3)の動向について

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

大庭 泉

ICH E19の概要と留意点

日本製薬工業協会 医薬品評価委員会

酒井 弘憲

14:50-15:20

コーヒーブレイク

15:20-16:50

セッション3

GCP Renovationにおける患者・市民とのコラボレーションの価値とは? ~クリニカルオペレーションは今何を考え、どう動かすか

ICH-E8(R1)では「被験者」という言葉が全て「参加者」という言葉に置き換わった。そこには患者の視点を医薬品開発の全ての段階を通して取り入れることの重要性が繰り返し書かれている。引き続きICH-E6(R3)改訂ではStakeholder Engagementの一環としてアカデミアや患者団体等の様々な利害関係者からの意見を取り入れながら検討を進めている。迫りくるGCP Renovationの波を乗り越えるため、患者参画の意義やコラボレーションの価値を理解することで参加者の明日の行動に繋げたい。

座長:

国立研究開発法人 国立がん研究センター 東病院

小村 悠

イーピーエス株式会社

小野崎 千晴

臨床試験、誰がために? ~私のPATIENT JOURNEYと臨床試験の位置するところ~

ダカラソクリエイト

谷島 雄一郎

患者のニーズ・期待とQuality by Design

田辺三菱製薬株式会社

植田 正樹

GCP RenovationにおけるPatient Engagementの位置づけ

国立研究開発法人 国立がん研究センター 中央病院

中村 健一

パネルディスカッション

本セッションの講演者

16:50-17:00

ショートブレイク

17:00-18:15

セッション4

RBMでのNext Stageへの変革 ~プロセスにフォーカスしたモニタリング~

Risk Based Approach to Monitoringのコンセプトが提唱されて約10年が経ち、Central MonitoringやCritical Data/Processに関する考え方は一定の理解が進んでいる。一方、プロセスにフォーカスしたモニタリングについては、そのコンセプトや重要性の認識はあるものの、具体的な活動イメージが共有されておらず、現場への浸透に大きな課題となっている。本セッションでは、特に治験実施中において、プロセスが適切になされていることをCRAがモニタリングするために、具体的に何を、どのように関係者にアプローチするのか、必要なスキルセットは何かについて、パネリストと共に議論する。

座長:

株式会社アイコン・ジャパン

松田 幸大

田辺三菱製薬株式会社

渋澤 智

プロセスアプローチの考え方 ~パネルディスカッションへの導入のために~

エイターヘルスケア株式会社

井上 和紀

パネルディスカッション

本セッションの講演者および

日本製薬工業協会

藤岡 慶壮

バイエル薬品株式会社

山下 幸司

キッセイ薬品工業株式会社
新開 浩平
 株式会社アイコン・ジャパン
吉沼 一彦

18:30 開始 意見交換会

2日目: 2023年7月21日(金)

9:00-10:15 セッション5

日本におけるIRB審査のあり方とは? ~セントラルIRBの本質的な役割を考える~

欧米や多くのアジア太平洋諸国において、何らかの認証を得たIRBによる一元的な審査を目指す動きが活発化しています。一方で、1,200以上存在すると言われる日本国内のIRBのうち、認証を取得したIRBは希少で、未だに一元的な審査の実施も限定的です。国際的調和が益々求められる現状で、日本国内のIRBは本当にこのままでよいのか?そこで我々は今回、本来のIRB審査の意義を改めて考えるとともに、日本独自の環境から派生した「セントラルIRB」に主な論点を置いて、今後のIRB審査のあり方を模索いたします。

座長:
 武田薬品工業株式会社
南條 和由
 株式会社アイロムグループ
原 寿哉

取り残された日本~阪大病院の挑戦~

大阪大学医学部附属病院

山本 洋一

外部審査を活用する大学病院

福島県立医科大学附属病院

稲野 彰洋

グローバル試験におけるセントラルIRB活用状況

サイネオス・ヘルスクリニカル株式会社

西垣内 俊紀

パネルディスカッション

本セッションの講演者

10:15-10:45 コーヒーブレイク

10:45-12:00 セッション6

同意説明文書(ICF)標準化の現状と未来 -患者さんとすべての関係者のために-

ICFの作成にあたっては治験依頼者及び医療機関関係者が多くの時間を費やしているものの、未だ双方で異なる課題を抱えている。

昨年のDIA年會においてR&D HEAD CLUB および様々なステークホルダーと共に患者さん目線を取り入れたJAPAN ICF COMMON TEMPLATEが紹介された。本セッションではその後の関連した活動について、ならびに各ステークホルダーの立場より、実際の導入事例を通じてこれまでに得た学び、新たに増えてきた課題を共有し、ICF標準化の未来について議論する。

座長:
 東京大学医学部附属病院

渡部 歌織

MSD株式会社

山崎 大路

医療機関における導入について

公益財団法人がん研究会 有明病院 先進がん治療開発センター

樽野 弘之

製薬企業における導入について

キッセイ薬品工業株式会社

池崎 友美

パネルディスカッション

本セッションの講演者および

一般社団法人 CSRプロジェクト

桜井 なおみ

日本大学医学部附属板橋病院

榎本 有希子

12:00-13:30 ランチブレイク/ランチョンセミナー

12:20-13:00 Activaid株式会社

13:30-14:45 セッション7

ベンチマーク型コスト算定の重要性和導入ノウハウ ~治験費用の透明性向上と算定方法の国際化に向かって~

日本が国際共同治験の参加国であり続けるためには、国際的に共通のオペレーションに適応し続ける必要がある。治験費用については、Fair Market Valueに基づくベンチマーク型コスト算定(BC)が国際標準であり国内のBC試行事例も増えつつあるが、現状は日本特有・施設独自の算定方法が多く国際的とはいえない。本セッションでは、治験費用の透明性・妥当性が国際的に理解されるためにはBCが最も有力な手段であることを理解し、先行事例も参考にしてBC導入に向けたアクションが取れるよう、一緒に考えてみたい。

座長:
 アステラス製薬株式会社
岡田 俊之
 神戸大学医学部附属病院
五百蔵 武士

ベンチマークデータができるまでの過程と使用上の留意点

メディデータ・ソリューションズ株式会社

佐藤 裕

ベンチマーク型コスト算定の導入経験 -CROのファーストチャレンジ-

IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社

三田 恵子

ベンチマーク型コスト算定の試行的導入を経験して

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

吉岡 まみ

パネルディスカッション

本セッションの講演者および

MSD株式会社 / R&D Head Club

内藤 聡通

14:45-15:15 コーヒーブレイク

15:15-16:30 セッション8

真に患者さんへの治験機会提供に繋げるDCTを実装するには ~訪問看護におけるステークホルダー間でのwin/winな関係構築~

近年、日本でも導入が進みつつあるDecentralized Clinical Trial (DCT)には様々な要素があり、今までeConsentやePROの活用が普及してきた。しかし、それらは治験実施施設内にて活用する事例が多く、遠方の患者さんが治験に参加しやすくなる等、患者さんへの治験機会提供に繋がっていない現状にある。真に患者さんへの治験機会提供に繋げるには、オンライン診察、訪問看護等のリモートの要素を実装する必要がある。本セッションでは、訪問看護に注目し、その課題と対応策について議論する。

座長:
 ノバルティスファーマ株式会社
花島 孝之
 プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
内田 正志

Home Health Visit導入の経験と今後への期待

ファイザーR&D合同会社

菰田 浩哉

DCTを導入した先に見えるもの ~実施医療機関の立場から~

京都大学医学部附属病院

松山 倫子

訪問看護事業者がDCTを経験した今、何を思うか

ソフィアメディ株式会社

金川 和弓

パネルディスカッション

本セッションの講演者および

3Hメディソリューション株式会社

丸山 薫

16:30-16:45 ショートブレイク

総合討論

COM ワークショップは、発足から約10年が経ち、昨年は第10回の節目を迎えました。本セッションでは、この場を創った原点からこれまで臨床試験の環境変化に対して我々が取り組んできたことを振り返り、未来に向けて何を継承しどのように変革していくかを語り合います。Clinical Operationを担う我々がお互いの繋がりを感じながら明日からの行動に移すきっかけとなれば幸いです。

座長:
中外製薬株式会社
山内 美代子
ファイザーR&D合同会社
岡田 久美子

COMの軌跡から見えてくるもの
シミック株式会社
関根 恵理

パネルディスカッション
本セッションの講演者および
ファイザーR&D合同会社
稲泉 恵一
東京大学医学部附属病院
渡部 歌織
トライアドジャパン株式会社
後藤 美穂

プログラム副委員長/ファイザーR&D合同会社
岡田 久美子

3日目:2023年7月22日(土)

特典企画: CRCと治験依頼者側とのスペシャルディスカッション (オンライン開催)

座長:
東京大学医学部附属病院
渡部 歌織
第一三共株式会社
石橋 寿子

施設側の質の確保や生産性向上に向けた活動の実際を紹介していただき、その後いろいろな話題でディスカッションを行います。施設側と治験依頼者側が本音で意見交換できるチャンス!奮ってご参加ください。

事前登録制

[こちらから](#)お申し込みください。



参加資格

- ・第11回DIA クリニカルオペレーションワークショップ参加者
 - ・CRC及び治験事務局(医療機関・SMO問いません)のすべての皆さま
- CRC・事務局の皆さまへのDIA参加体験企画としてこの3日目のスペシャルディスカッションには無料で招待。

プログラム

- 9:00 ~ 9:05 開会の挨拶、本日の流れ紹介
9:05 ~ 10:30 第一部
施設側の頑張っている取り組み紹介
1. 本気のエンロールコミットメント その3
国立病院機構 大阪医療センター
羽田 かおる
2. 新規治験立ち上げ時のタスク管理~Microsoft Planner活用事例~
株式会社EP総合
飯屋 百合絵
3. 逸脱事例の分析(ヒューマンエラー分析ImSAFER手法の活用)とプロセス改善
神奈川県立こども医療センター
三浦 恵美子
4. 話題提供(ICFの版数管理、治験参加カード)
桶狭間病院藤田こころケアセンター
坪井 宗二
Q&A / パネルディスカッション
本セッションの講演者
・効果的なリクルートメント方法
・ICFにまつわる問題と対応事例
・プロセス構築や改善等の考え方
・治験参加カードの工夫等々
- 10:30 ~ 10:33 意見交換会の説明
10:33 ~ 10:45 休憩
10:45 ~ 12:35 第二部
10:45 ~ 11:30 **CRCと治験依頼者のざっくばらんな小規模グループ意見交換会(1)**
11:30 ~ 11:40 休憩
11:40 ~ 12:20 **CRCと治験依頼者のざっくばらんな小規模グループ意見交換会(2)**
12:20 ~ 12:35 総合ディスカッション
(グループで話合われたことを共有)
12:35 ~ 12:40 閉会の挨拶(COMMUNITY活動の紹介)

会議参加申込書

一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン

Fax:03-3278-1313

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11
日本橋ライブサイエンスビルディング6F

Tel: 03-6214-0574

第11回DIAクリニカルオペレーション・モニタリング ワークショップ

[カンファレンスID #23307]

2023年7月20日-22日 | ※ハイブリッド開催:KFC(国際ファッションセンター:両国)/Web、7月22日(土)はWeb会議のみ

◆ 参加申込方法

DIAウェブサイト(www.DIAglobal.org)よりお申し込みいただくか、この申込書に必要事項をご記入の上、メール添付Japan@DIAglobal.orgにてお申し込みください。受理後、10営業日以内にEメールにて申込受領書を送付いたします。尚、チャットセッション・3日目特典企画は別途お申込が必要になります。*任意参加、事前登録制。申込後に担当者よりお送りする参加申込受領書メール(Confirmation Mail)に記載のURLからお申込ください。

◆ 参加費用 (該当する□にチェックしてください)

会員資格が失効している方および非会員の方は、会員登録(更新)することにより、会員価格にてご参加いただけます。会員資格はお支払いいただいから翌年同月末まで1年間有効です。DIA各種機関紙の入手、DIAウェブサイトの会員専用ページへのアクセス等、種々の特典も得られます。不明な点がございましたら、ディー・アイ・エー・ジャパンまでお問い合わせください。

①年会費 現在会員でない方で、会員登録をされる場合は希望する年会費の欄に印を入れてください。

*参加費の早期割引価格は現会員の方または会員登録と同時に申し込みされる方のみ適用されます。

会員資格が失効している方および非会員の方は、ぜひこの機会にぜひ登録ください。

*アカデミア会員資格にお申し込みの方は、本申込書をディー・アイ・エー・ジャパンまでメールにてお送りください。

Membership (有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 27,346 (税込)
2-Year Membership (有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥ 49,223 (税込)
Academia Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 20,205 (税込)
Academia Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥ 36,369 (税抜)

②参加費 所属カテゴリーと会員資格の有無により異なりますので、該当欄に印を入れてください。

会員	一般	*早期割引 2023年7月5日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 54,000 (税込)
		2023年7月6日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 61,000 (税込)
政府関係/ 非営利団体	*	早期割引 2023年7月5日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 29,000 (税込)
		2023年7月6日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 33,000 (税込)
大学関係/ 医療従事者	*	早期割引 2023年7月5日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 22,000 (税込)
		2023年7月6日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 25,000 (税込)
非会員	一般	<input type="checkbox"/>	¥ 83,000 (税込)	
	政府関係 / 非営利団体	<input type="checkbox"/>	¥ 55,000 (税込)	
	大学関係 / 医療従事者	<input type="checkbox"/>	¥ 40,180 (税込)	

③合計金額 (①+②):

合計 _____ 円

*最終確定金額はDIA Japanからお送りする受領書メールにてご確認ください。

◆ お支払方法

ご希望の支払方法にチェックを入れてください。

[支払方法] 銀行振込 請求書を送付しますので、その案内に従って振り込み手続きを行ってください。

クレジットカード 使用可能クレジットカード(どちらか1つにチェック) VISA MasterCard

カード有効期限(mm/yy) _____

カード番号 _____

カードご名義 _____

ご署名 _____

ご入金の際は、ご依頼人の欄に必ず参加者名および会社名を記載してください。同一会社で複数名の参加費を同時に振り込まれる場合は、書面にて参加者名と振込日をディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。振込に関する手数料は、振込人負担をお願いいたします。

アルファベット(英語)で記入ください

Last Name (姓) Dr. Mr. Ms. First name (名) Company

Job Title Department

Address City State Zip/Postal Country

email (必須) Phone Number (必須) Fax Number

*参加のキャンセルは、お申し込み受理後、2023年6月20日までは手数料として一般会員・非会員とも20,000円、政府/大学関係者については会員・非会員とも10,000円を申し受けます。それ以降のキャンセルについては参加費全額を申し受けますのでご注意ください。同一会社からの参加変更は可能ですが、その際はお早めにディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。(会員資格の譲渡はできませんので、非会員としての参加費を申し受ける場合があります。) 参加をキャンセルされる際には、必ず書面にてディー・アイ・エー・ジャパンまでご連絡願います。会場は変更される場合がありますので予めご了承ください。

*本会では、DIAの宣伝活動に使用する目的で、開催期間中に参加者を含む会場内の映像・写真を撮影することがあります。本年会の参加者は、DIAが記録した映像・写真等について、DIAの宣伝資料、出版物及びインターネット等への掲載その他一切の利用に係る権利(肖像権、パブリシティ権等を含みます)はDIAに帰属することを認め、DIAが無償で任意に利用できることを許諾するものとします。

*DIA主催の会議には、必ず登録者ご本人にご参加いただくよう、お願いしております。

[DIAが取り扱う個人情報について] お申し込みいただいた個人情報はDIAからの会議案内送付等の目的に使用させていただきます。また当日は、ご参加いただく皆様の会社名または組織名とご氏名を記載したリストを参加者・講演者・関係者(プログラム委員)に限り配布する場合があります。本申込書の提出をもって以上の個人情報のお取り扱いにご同意いただいたものと解釈いたしますが、ご同意いただけない場合はDIA Japanまでご連絡ください。

第11回 DIA クリニカルオペレーション・モニタリングワークショップ #23307

2023年7月20日(木)-22日(土) ※ハイブリッド開催:KFC(国際ファッションセンター:両国)/Web、7月22日(土)はWeb会議のみ

◆参加申込方法

本申込書に必要事項をご記入の上、メール添付Japan@DIAGlobal.orgにてお申し込みください。受理後、10営業日以内にEメールにて申込受領書を送付いたします。

◆参加費用(該当するqにチェックしてください)

会員資格が失効している方および非会員の方は、会員登録(更新)することにより、会員価格にてご参加いただけます。会員資格はお支払いいただいてから翌年同月末まで1年間有効です。また、DIA各種機関紙の入手、DIAウェブサイトの会員専用ページへのアクセス等、種々の特典が得られます。

不明な点がございましたら、ディー・アイ・エー・ジャパンまでお問い合わせください。本会議の参加申し込みは日本年会当日も受け付けています。

①年会費

非会員の方及び会員資格が失効している方で、会員登録をされる場合は希望する年会費の欄に印を入れてください。

* 早期割引価格は、現会員の方または会員登録と同時に申し込みされる方のみに適用されます。会員資格が失効している方及び非会員の方は、ぜひこの機会にご登録ください。

Membership(有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥27,346(税込)
2-Year Membership(有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥49,223(税込)

DIA Japan 使用欄 (w10)	
Date	
No.	
受領書送付	
Invoice	
入金	

②若手割引参加費

所属カテゴリと会員資格の有無により異なりますので、該当欄に印を入れてください。

若手割引は申込時点で35歳以下の方が対象となります。下欄に生年月日をご記載下さい。

		通常		若手割引	
会員	一般	*早期割引(2023年7月5日までの申し込み)	¥54,000(税込)	<input type="checkbox"/>	¥43,200(税込)
		2023年7月6日以降の申し込み	¥61,000(税込)	<input type="checkbox"/>	¥48,800(税込)
非会員			¥83,000(税込)	<input type="checkbox"/>	¥66,400(税込)

③合計金額(①+②):

合計 _____ 円

※最終確定金額はDIA Japanからお送りする受領書メールにてご確認ください。

生年月日(必須)

西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

なお、登録に際し、身分証を確認させていただく場合がございます。ご了承ください。

※日本SMO協会、日本CRO協会の会員の方は、会員価格にてご参加いただけます。にチェックしてください。

日本SMO協会会員 日本CRO協会会員

◆お支払方法

ご希望の支払方法にチェックを入れてください。

[支払方法] 銀行振込 請求書を送付しますので、その案内に従って振込手続きを行ってください。

クレジットカード 使用可能クレジットカード(どちらか1つにチェック) VISA MasterCard

カード有効期限(mm/yy) _____ カード番号 _____

カードご名義 _____ ご署名 _____

ご入金の際は、ご依頼人の欄に必ず参加者名および会社名を記載してください。同一会社で複数名の参加費を同時に振り込まれる場合は、書面にて参加者名と振込日をディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください(会員資格の譲渡はできませんので、非会員としての参加費を申し受ける場合があります。)参加をキャンセルされる際には、必ず書面にてディー・アイ・エー・ジャパンまでご連絡願います。

アルファベット(英語)でご記入ください

Last Name(姓) <input type="checkbox"/> Dr. <input type="checkbox"/> Mr. <input type="checkbox"/> Ms.	First name(名)	Company		
Job Title	Department			
Address	City	State	Zip/Postal	Country
Email(必須)	Phone Number(必須)	Fax Number		

* 参加のキャンセルは、お申し込み受理後、2023年6月20日までは手数料として一般会員・非会員とも20,000円、政府/大学関係者については会員・非会員とも10,000円を申し受けます。それ以降のキャンセルについては参加費全額を申し受けますのでご注意ください。同一会社からの参加変更は可能ですが、その際はお早めにディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください(会員資格の譲渡はできませんので、非会員としての参加費を申し受ける場合があります。)参加をキャンセルされる際には、必ず書面にてディー・アイ・エー・ジャパンまでご連絡願います。

* 本会では、DIAの宣伝活動に使用する目的で、開催期間中に参加者を含む会場内の映像・写真を撮影することがあります。本年会の参加者は、DIAが記録した映像・写真等について、DIAの宣伝資料、出版物及びインターネット等への掲載その他一切の利用に係る権利(肖像権、パブリシティ権等を含みます)はDIAに帰属することを認め、DIAが無償で任意に利用できることを許諾するものとします。

* DIA主催の会議には、必ず登録者ご本人にご参加いただくよう、お願いしております。

[DIAが取り扱う個人情報について] お申し込みいただいた個人情報はDIAからの会議案内送付等の目的に使用させていただきます。また当日は、ご参加いただく皆様の会社名または組織名と氏名を記載したリストを参加者・講演者・関係者(プログラム委員)に限り配布する場合があります。本申込書の提出をもって以上の個人情報のお取扱いにご同意いただいたものと解釈いたしますが、ご同意いただけない場合はDIA Japanまでご連絡ください。